

高度先進睡眠時無呼吸障害入門（有坂博史）

Introduction to Highly Advanced Sleep Apnea Syndrome (Hirofumi Arisaka)

キーワード

- ① 高度先進口腔医学講座
- ② 睡眠時無呼吸障害
- ③ 義歯と睡眠時無呼吸
- ④ 矯正治療と睡眠時無呼吸
- ⑤ 口腔内装置と睡眠時無呼吸

授業概要

閉塞性睡眠時無呼吸症候群は、心筋梗塞、脳梗塞など生命を脅かす疾患の大きなリスクファクターであるが、その病態生理は人類学的な複雑な機能に関係するため未だに多くのことが解明されていない。睡眠時無呼吸症候群の最新の文献を題材に講義・議論を行うことにより睡眠時無呼吸の生理、病態の問題点について理解を深め研究課題を探る。現在、閉塞性睡眠時無呼吸症候群の治療は、典型的な医歯連携により行われている。臨床的な問題またトピックな矯正治療の応用について理解を深める。

授業科目の学修目標

閉塞性睡眠時無呼吸は、心筋梗塞、脳梗塞など生命を直接脅かす疾患と関連しているが、その病態生理は、人類の進化とともに複雑な調節機構により成り立っているために、未だに解明されていないことが多い。本科では、研究課題の基礎となる睡眠時無呼吸の病態生理の基礎を修得する。

授業計画

- ① 睡眠時無呼吸の基礎と病態生理 20コマ 有坂博史
- ② 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 4コマ 有坂博史
- ③ 睡眠時無呼吸症候群研究論
 - ・義歯が睡眠時無呼吸に与える影響 2コマ 有坂博史
 - ・矯正治療による睡眠時無呼吸の治療 2コマ 有坂博史
 - ・口腔内装置による睡眠時無呼吸の治療 2コマ 有坂博史

教科書および参考書

睡眠時無呼吸症候群の診療メソッド—睡眠呼吸障害の集学的治療、中外医学社 佐藤公則著
歯科医師の歯科医師による歯科医師のための睡眠時無呼吸症候群の口腔内装置治療、医歯薬出版 奥野健太郎著
睡眠呼吸障害Update〈2011〉ライフサイエンス 井上 雄一 山城 義広（著）

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

特別な予備知識などは必要ありません。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 睡眠時無呼吸症の病態を理解し基本を説明できる。
- ② 臨床研究における倫理規範を理解し応用することができる。
- ③ 睡眠時無呼吸研究論を理解し実践することができる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
0%	0%	0%	0%	0%	90%	10%

評価の要点

- ・口頭試問は、授業終了後毎回行い知識の理解度を判定する。3%×30回=90%
- ・その他 学会発表を行う。10%×1回=10%

理想的な達成レベルの目安

高度先進睡眠時無呼吸障害入門の理想的な達成レベルは80%以上とする。